



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 1 月 30 日(土)

のしろまち灯り・冬 準備スタート～ろうそく作り～ 編

1月30日(土)、能代市子ども館で開催された廃食用油を利用したろうそく作りに、お手伝いで参加しました。学校給食に携わっていた時に、1ヵ月分の廃食用油を貯めておくよう連絡があり、市の担当者の方にお渡ししたことがありました。その時から、どのようにして作るのか興味津々でした。

当日は幼児から小学生、保護者の方が大勢参加してくれました。最初は熱した油を恐る恐るアルミ容器に入れていた子も、2回目は落ち着いて注ぎ入れることができ、安心と満足の笑みがこぼれていました。そして、できあがったろうそくを杉の間伐材を利用した台に入れ、点火すると会場から一斉に感嘆の声があがりました。

今回は、能代バイパス黒松友の会の工藤会長さんが風除けに和紙を張った灯籠を作って「スギ灯り」に乗せて下さり、様々な模様が写し出され、ひとときわきれいでした。

まち灯り当日は、小さな雪洞の中にろうそくを灯したりして、昨年までとは違った趣があったように思います。まち灯りを楽しんだだけの昨年までと違い、参加させていただいた喜びを存分に味わうこともできました。綿密な計画を立て、万端おこたりに準備して下さった方々に感謝！！です。

文：万町 宮腰 園子



1月19日には、ろうそく作りに参加してくれた子どもたちに渡すミニろうそくをほっとステーションで作りました。ピンク・ブルー・イエローの三色を一つずつ袋に詰めます。さて、みんな喜んでくれるでしょうか。



午前・午後の参加者が合わせて約100人にもなり、椅子ではなくシートに座ってもらうことに。



廃食用油を温度計で適温になるまで計りながら温めます。



温まった廃食用油に凝固剤を入れてカップにとり分け、芯を立てます。黒松友の会からもたくさんの応援がありました。



芯立ての優れモノを工藤さんが開発して下さいました。これぞ木のまち！です。



可愛らしい風除けつきのスギ灯りに火をともし、初疲労。きれい～の声があちこちで聞かれました。